

委員会提出議案第2号

議会評価意見書の提出について

上記の議案を、小松島市議会会議規則第14条の規定により別紙のとおり提出します。

令和5年9月28日

小松島市議会議長 池 淵 彰 殿

提出者 予算決算常任委員会  
委員長 南 部 透

令和4年度事務事業  
議会評価意見書

小松島市議会

## 議会評価意見書①

事業名	1-7 まち・ひと・しごと総合戦略事業 (結婚新生活支援事業・頑張る学生応援産品等発送事業)
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>出会い・結婚生活のスタートから子育てまで、切れ目のない継続的な支援は必要であり、移住・定住の大きな要因となり得る。</p> <p>本事業は、人口減少に歯止めをかけるべく実施している事業であり、有効な支援策だが、広く周知されていない。市内外への広報の充実が求められる。</p> <p>若者世代に選ばれるまちとして、他市町村との差別化を図り、特化した小松島ならではのものを多く創出できるよう、さらなる取組が必要である。</p>	

## 議会評価意見書②

事業名	1-23 コロナに打ち勝つ免疫力向上事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>5類感染症への移行後も感染者数の収まりが見えない中、お散歩アプリは健康増進を考える上で、健康志向の高い市民からは好評との声も聞く。</p> <p>しかし、9月10日現在の登録件数は1,495件と、まだまだ利用件数が少ない。周知の徹底と内容のブラッシュアップを図り、マンネリ化しないよう魅力あるアプリにし、アプリ登録件数の増加を図らなければならない。</p> <p>また、本事業の趣旨である免疫力向上に向けた健康指標も定め、検証しながら今後も継続した取組を望む。</p> <p>登録件数が伸びなければ、維持費もかかるため、廃止の検討もしなければならない。</p>	

### 議会評価意見書③

事業名	1-28 津波避難施設整備事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>令和4年度は、和田島北部地区に整備する津波避難施設の基本計画の作成業務に着手した。今後は、特定避難困難者の早期解消のため、令和6年度に基本設計・実施設計、令和7年度に建設完成のスケジュールを着実に実行することが求められる。</p> <p>市民の命を守るための重要事業であり、ソフト面で避難意識の向上にも努めなければならない。また、建設場所の用地選定などを含め、進捗状況の報告を地域住民だけでなく議会にも求める。</p> <p>また、本市は津波浸水地域が大半を占めており、様々な手法を用いて津波避難施設整備をさらに進めていくべきである。</p>	

## 議会評価意見書④

事業名	3-4 子どもはぐくみ医療費助成事業
議会評価	拡充
<p>【評価説明】</p> <p>子育て世代の経済的負担軽減は非常に重要であり、全国的に18歳未満までの医療費助成制度は普遍的な事業となっていることから、現状のまま継続すべきである。</p> <p>ただし、現在、自己負担となっている1か月に1医療機関につき600円の負担については、国や県、他市町村の動向を注視し、市民の負担軽減について検討する必要がある。</p> <p>今後も財源の確保に努めつつ、事務手続の簡素化を図り、制度の周知や事務の効率化に継続して取り組む必要がある。</p>	

## 議会評価意見書⑤

事業名	3-57 保育所・認定こども園保育料軽減事業
議会評価	拡充
<p>【評価説明】</p> <p>子育て世帯の支援策として、保護者の経済負担軽減のため必要な施策である。</p> <p>市民税課税世帯の0歳児から2歳児の保育料を最大20%軽減する事業だが、子育て世代から選ばれるまちに向け、今後、無償化すべきである。</p> <p>また、事業を拡大すればさらに歳入が減少するため、財源確保に向け取り組まなければならない。</p>	

## 議会評価意見書⑥

事業名	4-37 本港地区活性化事業
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>本港地区活性化事業は、中心市街地のにぎわい創出において重要であり、コンセプトイメージをさらに明確化し、子育て世代をはじめとするあらゆる世代に応じた空間整備を望む。</p> <p>また、巨額の資金が投入される大規模事業であることから、財政負担の軽減に努めつつ効果的な整備を図る必要があり、民間事業者の参入意欲を促進させる取組が重要である。</p> <p>本市では複数の大型事業が令和8年度から令和12年度に集中することから、実施時期を考えるべきだという意見もあった。</p>	



## 議会評価意見書⑦

事業名	6-9 外部人材活用事業
議会評価	現状のまま継続
<p>【評価説明】</p> <p>学校現場では、様々な分野の専門的な技術や知識を持った方々からの特別授業を受けることにより、新しい学びや大きな感動を得ることができ、自分の生き方や将来を考えるよい機会の創出につながっている。</p> <p>今後においても、必要な場面で授業の依頼ができる体制をつくり、児童生徒に夢と希望を与えられる外部人材の確保に努める必要がある。</p>	

## 議会評価意見書⑧

事業名	6-64 図書館運営事業
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>市立図書館は小松島市の文化発信の拠点となっていることから、今以上に環境整備が求められる。</p> <p>多様なニーズに応え、あらゆる利用者に対し充実した図書館サービスを提供し魅力的な空間を目指すことが望まれ、開館時間についても社会人が利用しやすい時間設定の検討や、購入図書については専門書や洋書などの充実を図る必要がある。</p> <p>今後は、本港地区再整備において、市立図書館が小松島本港地区活性化の一翼を担う施設となるよう取り進めなければならない。</p> <p>その上で、新たな取組としてIT技術を生かし、海外の大学図書館や公立図書館から論文やデータが閲覧できる図書館整備についての調査・検討を求めるべきという意見もあった。</p>	

## 議会評価意見書⑨

事業名	6-71 新小学校施設整備事業
議会評価	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>新小学校の施設整備に当たっては莫大な事業費用が必要とされる中、計画当初より床面積の増加や物価高騰等による事業費の増加が想定されていることから、様々な交付金を調査し歳入確保に努め、計画的かつ効果的に取り組む必要がある。</p> <p>事業手法では、DBO方式を用いた経験したことのない大規模な事業であることから、実施に向けて慎重かつ詳細な分析が求められる。</p> <p>また、事業進捗については議会への報告及び住民説明会を実施しつつ、新たな施設を利用した教育内容についても教育委員会が率先して説明し、進めるべきである。</p> <p>新小学校施設整備については、多くの課題があることから、庁内連絡調整会議において情報共有を図り、教育委員会と市長部局が連携を密にできる組織体制を確立し、課題解決に取り組む必要がある。</p>	